

この街にフィットする

Kashiwazaki

Size

[柏崎サイズ]

2021-22.Winter/Free Magazine Vol.

ご自由にお持ち帰りください。 ¥0 30

越後バナーナ物語 Vol.04 シモダファーム 読者プレゼント付

連載 柏崎発展人 Vol.19 柏崎市刈羽郡医師会 会長 高木 秋夫さん  
応援します! ブルボンウォーターポロクラブ柏崎 Vol.19

東京2020オリンピック報告会を開催 柏崎市教育委員会スポーツ振興課

生涯現役促進地域連携事業がスタート! 柏崎地域シニア活躍支援協議会

元気発信課からお知らせ 柏崎に移住を考えている方にお声がけください!

自分自在/かしわざき行動派 書籍を自費出版した春口敏栄さんをたずねて

Good Job Shop FREAK FLEEK フリークフリーク 読者プレゼント付

1ターン女子が教えてくれる じょんのび村の新しい魅力 読者プレゼント付



特集

# 柏崎の水

赤坂山浄水場/湧き水

Cover Face

おおはし

大橋 ましろさん

柏崎の好きなところは、癒しや発見が得られる場所が多いことです。

友達とどこかへお出かけする時、たくさん人が集まる大きい街よりも、リラックスでき、休める場所に行きたいと考えます。

柏崎にはお洒落なカフェやレストランが多くあるので、そういった意味でも、とてもいい場所だと感じます。

撮影協力/柏崎市上下水道局



本事業は厚生労働省に採択されました。

本事業は、厚生労働省の生涯現役促進地域連携事業の企画競争に参加し、プレゼンテーションを経て、全国4団体のうちのひとつに採択されました。本事業を通して、「シニアの皆さんのやりたいこと・できること」が実現するよう、お手伝いをしていきます。

# 生涯現役促進 地域連携事業がスタート！

スマホ、タブレット教室に参加しませんか。  
すべて無料で受講できます！ 柏崎市在住の55歳以上の方が対象です

会場／ワークプラザ柏崎 柏崎市田塚3丁目11-50 各回 定員10～20名

お問い合わせ・お申し込み ☎ 0257-24-2148 柏崎市シルバー人材センター



スマホやタブレットの使い方教室や、対面で集まることが難しいコロナ禍の今、非対面で会話ができるアプリ「ZOOM」の教室など、IT初心者にも優しい講座を下記の日程で開催予定です。内容等、詳しくはシルバー人材センターへお問い合わせください。

※コロナウイルスの感染拡大状況や天候で日程が変更する場合があります。

開催 予定日	1月18日(火)	1月25日(火)
内容未定	2月 8日(火)	2月15日(火)
	3月29日(火)	



事業の一例

**App** 専用アプリ 令和4年度リリース予定  
やりたいこと、できること、  
お仕事探しのお手伝い

 カフェスペースの開設

カフェスペースをご利用ください。

この看板が  
目印です



フリースペース「ジョブセレクトカフェ」がオープン

場 所／シルバー人材センター内  
営業時間／9:00～17:00 定休日／土日祝、年末年始

飲料持込み可、打合わせや懇談などにご利用できます。  
Wi-Fi完備でカフェスペースでのタブレットの無料貸出しも  
行っています。

タブレットの利用は事前登録が必要です。



運営 柏崎地域シニア活躍支援協議会 —厚生労働省委託事業—

柏崎市田塚3丁目11-30 (公社)柏崎市シルバー人材センター内  
TEL.0257-24-2148 協議会専用携帯/070-2887-7954

**60歳**  
から  
どなたでも  
入会できます

シルバー人材センターは  
**会員を募集  
しています!**

充実した  
未来へ!  
人生まだまだ  
これから!



- 職歴・性別・国籍は問いません ● 市内には約1,300人の仲間がいます
- フルタイムの仕事ではなく、自分の希望に沿って余暇や体調に合わせた就業が可能です

ご希望の方にパンフレット、  
マンガ冊子をお配りしています



公益社団法人 **柏崎市シルバー人材センター** Tel.0257-24-2148  
〒945-0032 柏崎市田塚三丁目11-30 Fax.0257-22-2438

柏崎市シルバー人材センター

silver@coral.ocn.ne.jp

## 自分自在/かしわざき行動派

はるぐち としえ  
「物書きになる!」—自分の目標に向かって行動を起こした春口敏栄さんをたずねて

2021年10月、一冊の書籍が自費出版で刊行されました。タイトルは『呑んべい親父の独り言』。著者は今年還暦を迎えた春口敏栄さんです。

『呑んべい親父の独り言』は、2007年から柏崎日報紙上に連載されてきた200編のエッセイを一冊にまとめたものです。ひと括りにエッセイと言っても、内容は自身のことはもちろん、柏崎の歳時記や風土、歴史から旅行記、評論など、多岐に渡っています。書籍のサブタイトルにある『明日から使えるウンチク満載』が示す通り、思わず知人に「知ってるかい?」と、さも自分が見つけたり経験したかのように話したくなる言葉であふれています。

## 思い立った時がタイミング! 目標を決めたら、まずは行動

「フルマラソン完走など、節目節目に目標を立てていた私は、55歳の時、物書きになって本を出版したい、そんな目標を立てました」

発表する機会を探していた春口さんの目に留まったのが、柏崎文化協会が発行する文芸誌『風のいる』の公募告知でした。早速執筆した自信作二編のうち一編を力試しと応募し、もう一編を柏崎日報に投稿したところ、編集長の田中さん(現・柏崎日报社社長)から連載のお話があり、同時に

『風のいる』随筆の部で最優秀賞を受賞しました。「目標を立てたからには行動しないと。でも、この早い展開には自分でも驚いています。これまで何編か書いたことがあります。随筆に関してはただの素人でしたから」

物書きの素人が新聞に連載をして本を出すに至るとは、天性の才能かと驚いていたなら、「興味を持ったことや昭和の思い出など、思いのままに書いていただけですよ。私の文章には難しかったり遠回りをする言葉や、ちよっと捻った比喩は存在しません(笑)。そんなカッコいい文章は私自



『続・呑んべい親父の独り言』を執筆中の春口さん(自宅の書斎にて)

身、読むのが苦手ですから」と謙遜する春口さんですが、思いを飾ることなく、ユーモアを交えて文章にできるなんて、やはりこれは大きな才能に違いありません。

## たくさんの人と交わりながら広がる見聞

最近では日々感じたことをSNSで発信することも多くなり、市内は元より、市外・県外の「フォロワー(友人)」が増えたそうです。そんな「友人」たちから、エッセイのヒントをもらうことも。また、数年前からソフィアセンターの図書館後援会が主催する講演会で講師を務めたり、地元

の大学生と交流したりと、活動の場は大きく広がっています。

春口さんの連載は今も『続・呑んべい親父の独り言』として続いており、最近では高柳・石黒地区のNPO法人が発行している会報「さわらび」にも文章を投稿しています。60歳になった今、長年勤めた会社を定年退職したこの先の目標をたずねました。

「物書きとしての次なる目標は長編作です。柏崎の見えない歴史を調べて、私なりの言葉で書いて行きたいと思っています」

思い立ったことを行動に移し、そしてそれを実現させる春口さん。ご本人いわく「どこにでもいる普通のおじさん」が描く新しい長編作を楽しみにしています。



呑んべい親父の独り言  
春口敏栄・著 税込1,650円

書籍は下記にて販売中

○わたじん書店 ○尚文館書店  
○THERE IS NOEND(柏崎市役所売店) ○コメリ書房  
柏崎店(市外のコメリ書房でもお取り寄せ可) ○柏崎インサツ ○柏崎日报社

春口さんの情報はフェイスブックで!



ブルボン

cheese sandwich  
with ice cream  
s'more  
sonomama

チョコ & 全粒粉入りビスケット

みんなアイスクリーム、ある?

※画像はイメージです。